



1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
平均気温（℃）	2.6	2.9	2.7	0.7	1.9	-0.4	2.3	1.1	月間平年比+1.2℃（高）
降水量（mm）	9.0	17.4	5.0	39.7	45.5	39.4	59.5	69.5	月間平年比 67%（少）
日照量（h）	43.7	44.7	45.3	38.5	36.9	45.9	125.9	129.1	月間平年比 98%（並）

- 12 月気象特記：最高 15.3℃（12/2）最低−7.1℃（12/16） 降水量 12/27 31.0 mm
- 2019 年間：平均気温 11.9℃（+0.6）・降水量 1182 mm（99%）・日照量 1981.8h（99%）
- 上旬（平年比）：気温（並）−0.3℃、降水量（少）52%、日照量（並）98%
- 中旬（平年比）：気温（高）+2.0℃、降水量（極少）13%、日照量（多）118%
- 下旬（平年比）：気温（極高）+2.3℃、降水量（多）115%、日照量（多）80%

2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

【生産特記】

① 生産基盤（推定）：ぶどう 350ha・りんご 150ha・もも 88ha・和梨 15ha・西洋梨 7ha・桜桃 11ha・柿 6 ha

② 生産量（昨対）：もも 80% 南水 105% ラフ 80% 秋映 90% スイート 85% ゴールド 75% ふじ 80-85%

③ 平均糖度：秋映 13.3%（南部）・13.1%（平岡） スイート 14.5%（南部）・14.4%（平岡） ゴールド 14.2%

④ 平均糖度：ふじ 15.2% ぐんま名月 15.0% シナノホッペ 14.0% *ふじ昨対 0.5%低い

⑤ 品質：玉肥大は全品目で良好。全品目で大玉比率が高い。果実により糖度のバラツキあり。

⑥ ラフランスの追熟は平年より早く、日持ち性はやや悪い状況。輪紋病の発生が多い。

⑦ りんご中生種・ふじで重度の症状が発生。大きな減収要因にはならなかった。

⑧ りんご中生種の日持ち性は平年より悪く、酸味低下も早かった。台風襲来もあり収穫進度は前倒しで進んだ。

⑨ ふじ：前例のない着色・蜜入り遅れ。10-11 月の高温で果肉軟化進んだ。ピーク 11/23-25。

⑩ ふじ：全体に大玉率高い。隔年結果、台風被害等で正品化率低下。生産量昨対 85%で終了見込み。

⑪ 百年ふじ：年間で苗木 1,200 本導入（面積 6ha） ⇒ 7 年間合計：苗木導入 5,000 本・面積 25ha（推定）

⑫ 柿：市田生産量昨年並み。琥珀の華は隔年結果、収穫ロス等で減収見込み。糖度は昨年並み。もどり多い模様。

⑬ キウイ F：生産量昨年並み。玉サイズは平年並み。小玉多発園もあり。かいよう病の発生は昨年より少ない模様。

【収穫開始期】 *昨年比 3〜5 日程度の遅れで収穫終了

・名月 11/1、シナノホッペ 11/5、サンふじ 11/5、ムーンルージュ 11/1、いろどり 11/5、なかののきらめき 11/15

・キウイ F 赤肉系 10/12、ヘイワード 10/17、市田柿 10/20〜、琥珀の華 10/25〜、平種柿 11/7〜

【病虫害】

① 腐らん病対策：収穫後の合剤散布徹底。

② 輪紋病：9/10 過ぎから発生。ふじに多い。長梅雨で感染拡大。全域で発生多い。正品化率低下の一因。

③ 炭そ病：中生種で発生（予想より少ない）。一部のふじでも発生あり。

④ すす病：りんご中生・ふじ等で被害果発生。8 月中旬〜9 月感染。散布死角からの発生多かった。

⑤ シンクイムシ類：中生種で被害発生中。梅雨明け後から密度上昇した園では被害大。

⑥ 遅腐病：巨峰で発生。昨年より多い。

⑦ 台風 19 号被害：冠水りんごは疫病・内部褐変発生の危険性があるため廃棄処分してください。

落果：ふじ・ゴールド中心に平均で 2%前後。その他スレ・傷発生→正品化率の低下あり。樹体損傷もあり。

冠水面積（推定）：15-20ha（りんご全体の 5%相当）

2019 果樹の収穫開始期と生産量

- 満開期は H29 並み ⇒ 全体での生産量は昨年を下回り終了へ。
- 収穫開始期は昨年比 5～7 日程度の遅れ見込み。降霜の影響あり ⇒ 生産量少なめ・玉サイズ大きめ・出荷時期遅め

品目名	品種名	収穫開始期	生産量・作柄
りんご	つがる（終了）	8/26～ ピーク 9/3	面積減もあり生産量昨対 90。36＞40＞46＞32。
	シナノリップ（終了）	8/22～ ピーク 8/25	出荷量 40 ケース（5 kg 換算）。芯カビ果発生あり。32＞36＞40
	秋映（終了）	10/1～ ピーク 10/11 頃	台風落果多。生産量昨対 90%。大玉率高い。32＞28＞36＞40
	スイート（終了）	10/10～ ピーク 10/22 頃	台風落果多。生産量昨対 85%。32＞36＞28。規格外率 7-10%。
	ゴールド（終了）	10/15～ ピーク 10/26 頃	台風落果多。生産量昨対 75%。32＞36＞28。規格外率 10%超。
	ふじ	11/5～ ピーク 11/23-25	隔年結果・台風落果多。生産量昨対 85%見込み。32＞36＞28
	ぐんま名月（終了）	11/1～ ピーク 11/10 頃	結実良好。出荷量 200 ケース（10 kg）。28＞26＞24＞32。大玉。
もも	あかつき（終了）	8/1～ ピーク 8/5	結実良好。生産量（昨対）110%。玉：16＞18＞20
	なつっこ（終了）	8/10～ ピーク 8/15	結実良好。生産量（昨対）110%。玉：16＞18＞15
	川中島（終了）	8/25～ ピーク 9/2 頃	台風被害有。生産量（昨対）72%。玉：16＞15＞13＞18
	黄金桃（終了）	8/27～ ピーク 9/5 頃	せん孔細菌病多。生産量（昨対）100%。16＞18＞15
ナシ	南水	9/17～30 ピーク 9/20	結実不良。面積減。生産量は昨対 105%。16＞14＞18＞12
	ラフランス	9/20～30	結実良好。面積減。小玉傾向。生産量は昨対 80%。
ぶどう	ナガノパープル	9/1～	大粒傾向。8/20～裂果発生。
	種なし巨峰	9/4～	大粒傾向。着色不良散見される。晩腐病は小発。
	シャイン M	9/16～	小粒傾向。未熟果多い。糖度上昇・酸抜け例年になく遅い。
	有核巨峰	9/1～	大粒傾向。着色不良散見される。晩腐病は小発。

撮影：JA 園芸技術員スマホ 2019・12 月 ＊何か被害ありましたら「LINE」で即送信ください。迅速対応します。



冠水被害 立ヶ花 10/14



冠水被害 栗林 10/14



ふじ褐斑病 柳沢地区 11/13



ふじ疫病 冠水地帯 11 月